

藤沢聖マルコ教会講演会のご案内

健康に老いを生きる

わたくしたちの日常生活を見回してみると「健康志向」が強く、健康食品やサプリメント、体力増強のエクササイズジムなどが賑やかに喧伝されています。このような状況の社会背景としてはある種の「健康が義務となる社会」があるように思います。今回のお話しでは先ず「健康とは何か？」を考えたいと思います。現代の健康観の背後には、私たち人間の価値を「生産性と社会性」と言う物差しで評価する考え方があるように思います。そこから「五体満足」を健康と考える考え方が生じてきます。すなわち、「出来る」と言う能力中心の人間評価です。聖書は「人と妻は二人とも裸であったが、恥ずかしがりはしなかった」（創世記 2:25）と語ります。存在はすなわち価値だ、ということでありましょう。この視点から主題「“健康” に老を生きる」をご一緒に考えましょう。

講師：関正勝司祭

とき：5月31日（土）13：30～15：30

ところ：藤沢聖マルコ教会

藤沢市鵜沼海岸 7-10-20

0466-36-2331

講師の紹介

日本聖公会司祭。1961年立教大学文学部キリスト教学科卒業、1964年立教大学大学院文学研究科組織神学専攻修士課程終了、1965年聖公会神学院卒業。1968-69年ケンブリッジ大学ウェスレー・ハウス留学。その後に、立教大学コミュニティ福祉学部教授と理事、聖公会神学院校長と理事など。現在、立教大学名誉教授、聖路加国際病院（嘱託）チャプレン、ヤマザキ学園大学教員。

主な著書に、『生命科学とキリスト教Ⅰ脳死』（共著）、『生命科学とキリスト教Ⅲ死』（共著）、『生命倫理』（聖公会出版）。訳書に『働くこと愛すること』（D・ゼレ著）、『魂の同伴者現代社会におけるキリスト教の霊性』（ケネス・リーチ著共訳、聖公会出版）など。